

令和8年度 財務部組織目標

組織名	財務部	部長	財務部長 財産経営推進担当部長 税務監	渡辺 和則 内藤 晃子 小関 洋
組織の目的・方向性	人口減少・少子高齢化の進行により税収の伸びが限定的である中、物価高騰等による歳出増も見込まれ、財政運営は引き続き厳しい状況にある。こうした状況においても、明るい未来を切りひらき、必要な投資を行うため、経営資源の適正配分に向け、財政基盤強化の取組を継続し、将来世代に過度な負担を強いることのない持続可能な財政運営を推進します。			
(参考) 関連する総合計画における政策指標※	・将来負担比率 ・公共施設の維持管理運営コスト			

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

財務部組織目標

社会情勢の変化に対応した行財政改革に継続して取り組み、経営資源の効果的・効率的な配分を行うとともに、社会情勢の変化や国の経済対策に的確かつ機動的に対応しつつ、強固な財政運営の基盤づくりを進めます。また、公共施設再編の取り組みや公有財産の効率的な管理・利活用を進めるほか、公正・公平な税務行政を推進するとともに、多様な納付手段の提供により納税者の利便性向上を図ることで自主財源を確保します。

重点目標

- 1 社会情勢の変化による財政需要に対応しながら、強固な財政運営の基盤づくりを進めます。
- 2 質・量・コストの3つの視点でリ・スタートした「これからの公共施設のあり方検討」により、財産経営をさらに推進します。
- 3 税制度などを適切に運用し、市税の公平・公正な賦課徴収を推進します。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

取組結果	重点目標の達成状況	目標数		達成数	
今後の方向性					